

### 例題11の目的

- 書誌修正の手順について理解する。
- 初号以外の号による修正方法について理解する。
- 著者名典拠レコードの新規登録について理解する。

### 操作の流れ

#### (1) 書誌検索

総合目録データベースに1件ヒットする。

#### (2) 書誌確認（同定）

情報源と照らし合わせて、求める書誌レコードであるかどうか（同一書誌レコードとしてよいレコードかどうか）を確認する。

#### (3) 書誌登録・リンク形成

書誌レコードは、初号を根拠として記入されている。

手元の資料と書誌レコードとでは、責任表示と出版者が異なるが、これらのデータは初号以降の号で修正することはできないので、注記に記入する。

また、変更後の責任表示について、新たに著者名リンクフィールドを作成し、著者名リンク形成を行う。

#### (4) リンク形成（著者名典拠レコード新規作成）

著者名リンクを形成しようとするが、検索結果は「ノーヒット」である。検索キーをかえて検索しても総合目録データベースにも参照ファイルにも求めるレコードが存在しない。

新規入力の宣言を行い、新たな著者名典拠レコードを作成・編集する。

この著者名典拠レコードは、リンク形成を行うと同時に総合目録データベースに登録される。

#### (5) 所蔵登録

新たに所蔵レコードを作成し、登録する。

#### (6) 登録終了

実際の業務では、郵送またはFAXまたはE-mailにて、国立情報学研究所への報告（書誌修正）を行う。